

尾鷲組大庄屋文書（一紙文書） 市文化財指定記念講演会

令和 7 年 11 月 29 日（土） 13：30～16：00

今年、市文化財となった一紙文書の調査を主導された塚本先生をお招きし、大庄屋文書の伝来経緯や一紙文書と冊子文書の関係、これまでの事業の意義や今後の課題、さらには調査当時の思い出などもお話いただきます。

講師：塚本 明（つかもと あきら）先生

【プロフィール】

専門は、日本近世史。京都大学文学部、同大学大学院文学研究科を修了後、京都大学人文科学研究所助手、三重大学人文学部助教授を経て、現在三重大学人文学部教授。

2001年に本市で開催された三重大学公開講座をきっかけに、一紙文書の調査へもご協力いただき、現在も講演などを通して、本市の古文書の魅力を発信していただいている。

主な著書は、『江戸時代の熊野街道と旅人たち』（塙書房）など。



調査当時の様子
（塚本先生より提供）

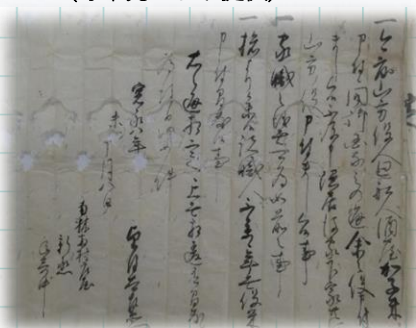
会 場：尾鷲市立中央公民館 1 階視聴覚室

参加費用：無料

定 員：40 名

申込締切：11 月 27 日（木）まで（先着順・要申込）

申込方法：お電話もしくは添付の申込書をご提出ください。



一紙文書に残る最古の文書
（寛永8 [1631] 年の定書）

【申し込み・お問い合わせ先】

尾鷲市教育委員会生涯学習課（尾鷲市中村町10-41・中央公民館内）

TEL：0597-23-8293

キリトリ

尾鷲組大庄屋文書（一紙文書）市文化財指定記念講演会申込用紙

【締め切り】令和7年11月27日（木）まで

氏名	性別	電話番号
ふりがな		
住所	年齢	